



(ホームページもご覧下さい <http://www.ojima-shinichi.com/>)

筑西市下野殿 801-1 TEL0296 (24) 8951

筑西市議会議員 小島 信一

3月定例会より 報告 (30年第1回定例会)

30年3月29日発行

30年度予算成立

| | |
|---------|------------------|
| 一般会計 | 431億円 (前年比2.8%増) |
| 特別会計 | 279億円 (前年比7.3%減) |
| 水道事業会計 | 35億円 (前年比0.2%増) |
| 市民病院会計 | 11億円 |
| 新中核病院建設 | 32億円 |
| 合計 | 788億円 |



歳入の主なもの

| | |
|-------------|------------------|
| 市 税 | 147億円 (前年比4.6%増) |
| 地方交付税 | 66億円 (前年比7.0%減) |
| 地方消費税 | 18億円 (前年比12.%増) |
| 国庫支出金 | 54億円 (前年比11%増) |
| 県 支出金 | 30億円 (前年比27%減) |
| 繰 入 金 | 15億円 (前年比32%減) |
| 市 債 | 63億円 (前年比50%増) |
| ふるさと納税 (寄付) | 1億2千万 (前年同) |

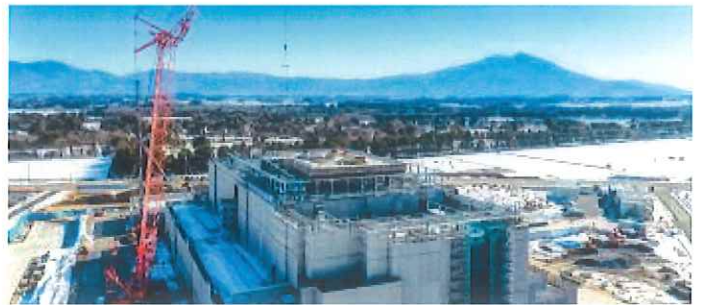
新中核病院の進捗 ——今年度の主な事業

10月開院に向けて

- ・ 本体工事・外構工事・情報機器設置・医療機器設置
- ・ 什器備品購入・両病院からの移転事業
- ・ 統合事業 (開院準備)・開院後の病院運営事業

新中核病院開院後の収支計画

開院3年目に黒字になることを見込む。但し、地方独立行政法人という公的機関の宿命として非採算事業の24時間救急、保健衛生等を担うため、筑西市から相当の財政投入を前提とする。(気になるのは相当額ですが6~8億円とみています。)



○今年度予算の特徴

- ・ 歳入積極予算は法人市民税収の増加を見込んだもの。企業誘致の効果、特にファナックの増床、好景気による。
- ・ 特別会計の変動は国民保険制度の変更による。保険給付において県の果たす役割を大きくした。
- ・ 市債の増加は道の駅建設のため。本年度から工事開始。

○今年度注目事務事業

- ・ 駅北口、南口広場再整備のための調査・・・2500万円
- ・ 下館駅びゅうプラザ再利用・市内公共交通利用促進についての情報発信・市内観光とのリンク・・・75万円
- ・ おたふくかぜワクチン接種事業・・・2900万円
予防接種法に位置付けられていないが有効性が認められる予防接種に市が公費負担。
- ・ 玉戸・一本松線基本設計事業・・・2,000万円
内環状線の未完成部分の整備に市はようやく着手

(今年度注目事務事業の続き)

- ・ 橋梁長寿命化事業・・・2億2千万円
15m以上供用年数50年以上の橋梁を計画修繕2m以上のすべての橋梁について点検
- ・ 小川線街路整備事業・・・6700万円
総延長 587m
総事業費 5億8千万円
- ・ 自主防災組織支援事業・・・430万円
- ・ にいばりの里 推進事業・・・428万円



新治廃寺跡、新治郡衙跡、市立農業資料館の「にいばりの里」の整備推進のため史跡の測量事業。



○道の駅整備事業
16億3千万円

30年度事業

5年継続事業(27~)
総額は20億を超える
平成31年8月オープ
ンを目指す。



(今年度注目事業の続き)

・茨城国体関連事業

・・・1億2千万円

H31年9月開催の茨城国体
に向け、リハーサル大会、総
合体育館の修繕、広報活動



・田宿猫島線整備事業

・・・1億5千万円

H30年度は道路改良工事
に着手。総延長535m
H29年~H31年



・人口10万人死守プロジェクト

○若者・子育て世帯の住宅取得支援・・・1億1千万円
筑西市内に住宅を取得する場合最大70万円補助

○市立保育所等施設整備補助事業・・・8億5千万円
市内2施設(既存)の増築、2施設の新設の補助金支給
合計定員240人の増強

○2人目、3人目のお子さん保育料軽減・・・2千7百万円
保育料について第2子は半額、第3子は全額補助

○病児保育事業・・・1千5百万円
病気のため保育所に預けられない幼児を西部メディカル
センター内の病児保育室で預かる。

○学校給食費支援事業・・・8千4百万円

一般質問

求められる再任用制度について

小島質問：職員の定員適正化計画があるが、平成29年
度計画873人に対し、実数は917人で44人超過
となっている。その要因は？

総務部長答弁：西部メディカルセンターへ移行する任期
付き職員を採用していることもある。

質問：再任用制度の影響も大きいのでは。再任率は50%
台から年々上昇し現在80%を超えてる。当初の予測
を上回っている。一方、新規採用の予定は？

答弁：平成31年度から20人、10人、10人、10
人10人となっている。

質問：再任用職員の増加が新規採用の抑制にならないか
答弁：十分理解はしているが再任用は選考による採用と
いうこと周知徹底したい。

質問：求められる再任用制度を市長はどう考えるか
市長答弁：現状、再任用は年金支給までのつなぎの意味
合いが強い。地方公務員法に即した本来の考え方のも
と新規採用への影響も考慮した制度にしたい。

旧本庁舎の跡地利用について

小島質問：当初の計画では本庁舎をスピカビルに移転し
ても旧庁舎の北部分は残す、これをすべて取り壊す計
画に変更した。英断だと評価したいが広大な1300
0㎡の跡地についてのビジョンが見えない。市長はど
う考えますか？

市長答弁：具体的な計画はまだないが、敷地一帯の土地
利用計画を検討していく中で決定したい。

質問：旧市役所周辺の市街地は成熟度の高いコンパクト
シティとなっている。徒歩15分圏内に、スピカ市役

税務署、法務局、図書館、駅、郵便局、市民交流セン
ター、美術館等公共施設が複数存在します。外部・周
辺部との連携のためには何百台規模の大駐車が必要で
す。これを失えば夏祭りも他のイベントにも客は呼べ
ません。駐車場としての整備を提案したいが市長は？
市長答弁：都市機能が集積する駅前市街地と周辺地域の
アクセス向上や連携強化を図ることで、さらなる活性
化が期待できる。しかし具体的な跡地利用については
今後、敷地一帯を含む土地利用計画を検討していく中
で研究してまいります。